

青市保保第 169号
平成21年 6月 8日

県健康福祉部 障害福祉課長 様

青森市保健所長
(公印省略)

麻疹の集団発生予防について

本市の保健衛生行政につきまして、平素からご協力をいただき御礼申し上げます。

さて、市内において、5月から今までに乳幼児の麻疹患者の発生が2例ありましたので、今後の発生について注意する必要があります。

例年、春から夏にかけて麻疹が流行します。麻疹は、空気感染や飛沫感染などで感染し、肺炎や脳症などの合併症を起こし重症化したり、死亡する場合があります。

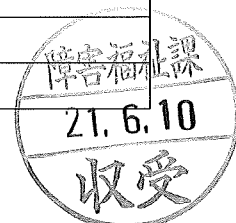
麻疹の予防方法といたしましては、ワクチン接種により麻疹に対する免疫をあらかじめ獲得しておくことが必要ですが、日本での、患者のほとんどが予防接種を受けていない状況にあります。

つきましては、麻疹による集団感染を予防するため、予防接種歴の確認や、接種がお済みでない方にはワクチン接種を勧める等下記のことに注意し、発生及びまん延予防に努めるよう貴職が所管する施設等に対し予防対策の周知・徹底をお願いします。

記

●麻疹とは

特徴	感染力が強く、発症率も高い	
感染経路	空気感染、飛沫感染	
潜伏期間	感染後、約 10～12 日間	
症状	カタル期	発熱(38℃以上)風邪様症状(せき、鼻汁など)、結膜炎症状(結膜充血、眼脂、羞明)、コプリック斑(発疹出現の1～2日前頃に出現する頬粘膜に白色小斑点)
	発疹期	一時発熱が低下するも再度高熱、特有の発疹が耳後部、頸部、前額部から全身に広がる
	回復期	発疹は色素沈着し消退し、回復に向かう
感染力がある期間	カタル期の1～2日前から発疹出現後4～5日後まで	
予防方法	ワクチン接種	
治療	安静と対症療法	



●予防方法

◎特異的治療法がなく、対症療法が中心となるため、ワクチンによる予防が最も重要です。

◎定期予防接種に該当する方は、忘れずに接種を受けましょう。

- ・ 第1期：1歳児
- ・ 第2期：小学校就学前の1年間
- ・ 第3期：中学1年生相当世代
- ・ 第4期：高校3年生相当世代

◎ ワクチン接種1回のみで、かつ麻疹罹患歴がない方は、医療機関で抗体価検査を受け、必要時、任意接種を受けることをお勧めします。

◎ ワクチン接種を一度もしておらず、かつ麻疹罹患歴がない方、任意接種を受けることをお勧めします。

●麻疹にかかったら

◎すぐに医療機関を受診して治療を受けましょう。

◎受診する際、周りの方にうつさないために、受診する前に医療機関に麻疹疑いということ連絡しましょう。

◎他の人との接触を避けましょう。

●施設等で麻疹患者が一人発生したら

◎「保育所・幼稚園・学校等における麻疹対応ガイドライン 第二版（国立感染症研究所感染症情報センター）」を参考に対応してください。

http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/guideline/school_ver2.pdf

<参考>

●「麻疹」について：感染症情報センター

<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/index.html>

●「青森県感染症発生動向調査（週報）」感染症の発生状況等の情報を提供しています。

<http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/kansen2009.html>

なお、ご不明な点などがございましたら、青森市保健所保健予防課までお気軽にお尋ねください。

青森市保健所 保健予防課
地域保健チーム 鹿内
☎ 017-765-5282 FAX 017-765-5202